

果樹農家のみなさまへ、時季ごとの耳より情報をお届けします



暑い今夏ではあったが...



- 今夏の甲府における月平均気温は6月 22.8℃(平年比+0.5℃)、7月 27.8℃(平年比+1.8℃)、8月 28.2℃(平年比+1.1℃)であり、暑い夏でした(図)。
- 猛暑日(日最高気温が 35℃以上の日)の日数は9月上旬現在、32日と平年の約2倍でした。まさに気象庁が示した「顕著な高温」という状態で経過しました。
- 降水量は、台風2号の通過もあり、6月が256.0mmと平年比225%と極端に多く、硬核期～収穫期を迎えた早生品種を中心に核割れ、着色不良等の被害が現れました。
- これらの大雨は、温暖化に伴う水蒸気量の増加傾向の影響が考えられます。
- 今までは、温暖化は日照量が増加するのでモモ栽培に対してプラス面も大きいのではないかと思う面がありました。
- しかし、降雨の極端化傾向も明らかになり、マイナス面も明らかです。
- 果実生産や労働環境等広範囲への温暖化への対応策が求められています。

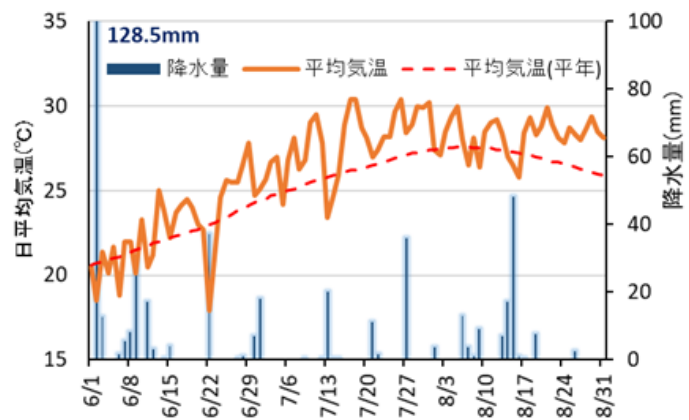


図 本年6～8月の気象(甲府)



秋季の管理もシッカリと！



- 収穫作業が終了しホッとひと安心する時期ですが、9月は冬に備えて貯蔵養分を蓄え、来シーズンに備える重要な期間ですので必要な管理作業を適宜行いましょう。
- 樹に絡みついているツル性雑草は除去し、受光体制を確保しましょう(写真右)。
- 折れた枝等は補修や剪除し傷口には癒合剤を塗りましょう(写真中央)。
- 支柱を結びつけていたマイカ線や針金は枝の肥大に伴い、食い込んで行くので緩めましょう(写真左)。



写真. 秋季に必要なモモ園管理作業